

令和6年度の重点課題

○新体力テスト総合評価のAB率33.3%、DE率16.7%である。（（AB-DE）率16.7%）

○男子

・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が87.5%である。（前年比12.5%↓）
 ・体育の授業は好きだが、運動自体に苦手意識のある児童がいる。
 ・「反復横跳び」において、県平均値を下回っている。運動に欠かせない俊敏性の向上に努める必要がある。

○女子

・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が63.6%である。（前年比6.67%↓）
 ○第5学年の男女とも運動自体に苦手意識がある児童がいる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育の準備運動の中に、学校全体で統一した腹筋運動を取り入れ、継続的に行うことにより、筋力や俊敏性の向上を図った。

○毎週水曜日の昼休憩に、元気タイムを取り入れ、筋力の向上に努めた。

○家庭との連携を図り、元気週間として、腹筋運動に取り組む強化週間を設け、「腹筋カード」を作成した。

○生活振り返り週間を設け、よりよい生活習慣を意識できるように、保護者にも協力を得た。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.40	26.00	36.00	39.40	45.80	10.38	149.20	23.20	53.20	第5学年	19.00	28.00	44.00	32.00	53.00	8.50	181.00	13.00	65.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.40	26.00	36.00	39.40	45.80	10.38	149.20	23.20	53.20	第5学年	19.00	28.00	44.00	32.00	53.00	8.50	181.00	13.00	65.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	87.50	0.00	12.50	0.00	第5学年	50.00	0.00	50.00	0.00

学校独自の意識調査

○外で遊べるときには、積極的に運動場で遊んでいます。（全校児童52名に対してのアンケート実施）

アンケート結果	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
肯定的	64%	29%	10%	3%
否定的	87%	13%		

重点課題

情意面での課題

○男子
 ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が87.5%である。（前年比と同率）
 ・体を動かすことや、外で遊ぶことが好きな児童が多いが、運動自体に苦手意識のある児童がいる。
 ○女子
 ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が50%である。（前年比13.6%↓）

体力面での課題

○男子
 ・「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において県平均かつ全国平均値を下回っている。
 ○女子
 ・「反復横跳び」「ボール投げ」において、県平均かつ全国平均値を下回っている。
 ○全体

令和8年度の重点目標値

○運動が好き、やや好きと答える児童を男子90%以上、女子は80%以上を目指す。
 ○男子女子共に、反復横跳びの記録を全学年が県平均値、全国平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○運動が必要である「俊敏性」や「持久力の向上」を目指し、取組を行う。

○児童への意識アンケートから、休憩中に外に出て遊ぶ児童が多く、外で体を動かして遊ぶことに対して苦手意識がある児童は少ないと言える。授業で取り組む際には、運動やスポーツに対して、苦手意識のある児童も楽しく、達成感のある学習にするために、児童同士で学び合ったり、協力して楽しく運動したりすることを取り入れるなど、児童が主体的に学びに参加できる環境を多く設ける。

体育の授業以外で行う取組内容

○家庭学習で持久力を高めることを目的として、なわとびに取り組ませる。
 ○児童会を中心として、異学年交流での外遊びを推奨する。（月に一程度）
 ○毎週水曜日は、ロング昼休憩を設け、遊ぶ機会の確保を行う。
 ○毎週水曜日のロング昼休憩の前に、元気タイムを設け、俊敏性の向上に努める。